

## 平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	流域下水道切替事業	所管	下水道部 下水道総務課
			TEL 2998-9213

事業の目的 (何の為に 行うか)	所沢処理区を流域下水道へ切替えるための準備を進める。
------------------------	----------------------------

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	単独公共下水道所沢処理区(920ha)	対象とした数	920	ha
		実際に 利用した数	920	ha

活動の内容	(何を したか)	<p>・埼玉県では所沢処理区の汚水を荒川右岸流域下水道新河岸川水循環センターで受け入れるための施設建設を、平成23年度末の予定で進めている。</p> <p>・このため予定どおり所沢処理区を流域下水道に編入できるよう埼玉県に対し施設建設促進を働きかけると共に、編入するための準備をすすめる。</p>							
		活動実績	項目名	埼玉県下水道課、 荒川右岸下水道事 務所へ事業促進の 要請回数	5	単位	回数	項目名	単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	33	28	2,846	8.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	切替のための準備事項の 履行状況	切替のための準備事項を実施したかどう か	県への要望	実施	100.0
			単位	単位	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了					
	総合 評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了				
	予算	現状どおり	* 増額	減額	終了	

# 平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	080100	TEL	2998-9213
事業コード	流域下水道切替事業					
080103	開始年度 平成 12 年度 ー 終了年度 平成 24 年度					
グループ		総務担当				

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	下水道法、都市計画法							
	関連・類似事業								
	総会計の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	6節 下水道	中柱	1 計画区域の整備	小柱	(3)流域下水道化の推進
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 38 位		・実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>	A
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		3621		コード		コード		コード	
事業開始の背景		本市は昭和43年から所沢下水処理場で下水処理を開始したが、埼玉県との協議の結果、昭和46年に「荒川右岸流域下水道計画」の対象市となり、将来的には所沢処理区の汚水も県の処理場で処理することになった。							

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)									
	所沢処理区を流域下水道へ切替えるための準備を進める。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方				
	単独公共下水道所沢処理区(920ha)					単独公共下水道所沢処理区(920ha)				
	対象数	単位	平成 18 年度	920	ha	利用数	単位	平成 18 年度	920	ha
		平成 19 年度	920	ha			平成 19 年度	920	ha	
事業の具体的な内容及び実施方法										
・埼玉県では所沢処理区の汚水を荒川右岸流域下水道新河岸川水循環センターで受け入れるための施設建設を、平成23年度末の予定で進めている。 ・このため予定どおり所沢処理区を流域下水道に編入できるよう埼玉県に対し施設建設促進を働きかけると共に、編入するための準備をすすめる。										

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>									
	総合評価	<input type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] )								
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了								
	平成19年度中に改善した点 特になし									

⑤経費	《会計種別》	特別会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算		28	33	13
	決算(見込み含む)		33	28	
	(嘱託職員)(臨時職員)	( 人 ) ( 人 ) ( 人 ) ( 人 )			
	正規職員人件費	0.30 人 2,760	0.30 人 2,818	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	公債費				
	事業費合計		2,793	2,846	
	財源内訳	一般財源	2,793	2,846	13
		国・県支出金			
		受益者負担金			
	市債				
	その他				
市民一人当たり(単位:円)		8.3	8.4		
利用数一単位あたり(単位:円)		3,035.9	3,093.7		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	埼玉県下水道課、荒川右岸下水道事務所へ事業促進の要請回数	回数	5	5	5	
	成果分析	切替のための準備事項の履行状況	切替のための準備事項を実施したかどうか	目標値	H19切替管は整備済	県への要望	県への要望
				実績	実施		実績値の拡大を図る1
				%	達成率	100.0	実績値の縮小を図る2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	流域下水道への切替は平成23年度末であるが、切替前に廃棄物対策課はし尿処理施設を建設する必要がある。その場所は決定ではないが、所沢下水処理場内の可能性が高い。その場合、県との調整結果によっては国庫補助事業により取得した部分の財産処分を行う必要がある。	見直しの必要性	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	今期目標項目(何を)	引き続き県に対し、処理場建設促進を働きかける。	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
平成21年度における事業の方向性	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 => ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] ) <input type="checkbox"/> 終了 => ( <input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 )			
予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	現在のところ、県の処理場建設事業は順調にすすんでいる。今後は切替時期を見据えながら、県と切替に必要な事務手続きに関する協議等も実施していかなくてはならない。			
評価日	平成20年6月4日	記入者職氏名	下水道総務課長 高橋正信	

⑧二次評価	事後評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [ ] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 1 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
優先度評価	見込まれる貢献度	総合計上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
評価理由	所沢下水処理場が40年以上経過して老朽化していることから、出来るだけ早い時期での県処理施設への接続が望ましい。平成23年度末に予定している荒川右岸流域下水道新河岸川水循環センターへの切替が予定通りできるように県への積極的な働きかけを行うとともに、実施に向けた調整を進められたい。					
評価日	9月1日					

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎個別計画			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	基本目標			
主要課題				
施策の方向				